

第3回津別町議会臨時会『行政報告』

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る3月24日、小林
ニットウェア株式会社相談役 ^{こばやしひろき} 小林寛樹様のご逝去されました。故人は、平成元年の「株式会社Kニットツベツ」の開業に携わり、本町と本社のある南アルプス市との交流促進の中心的役割を果たされ、永きにわたり本町の活性化と振興にご尽力をいただきました。

生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

次に、**寄附**についてではありますが、3月17日、網走信用金庫様より、網走信用金庫創立100周年を記念し、まちづくりに役立てて欲しいと100万円のご寄附をいただいたところであります。ご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただく所存であります。

次に、**ふるさと納税**についてではありますが、令和6年度の寄附実績は、3,729件、57,612千円で、前年度の5,244件、89,109千円と比較し、件数で28.9%の減となり、金額では35.3%の減となりました。

減少の主な要因としましては、返礼品事業者との調整不足により、

適切な時期にふるさと納税ポータルサイトの掲載を行えなかったことや、返礼品の情報を効果的に発信できなかったことなどが挙げられます。

本年度からは体制強化のため、住民企画課内にふるさと納税係を新設し、公約であるふるさと納税額 1 億円を目標として、皆様のご協力とご支援をいただきながら事業を推進して参ります。

また、令和 6 年度の企業版ふるさと納税については、11 社から総額 28,300 千円のご寄附をいただきました。

あらためまして、全国の寄附者の皆様と企業の皆様のご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、寄附金につきましては、ご趣旨に沿い活用させていただく所存であります。

次に、**交通安全推進運動**についてであります。4 月 9 日、中央公民館において、関係者等 113 名の参加により、交通安全推進町民大会を開催いたしました。

この大会において、「町内における交通事故死ゼロ日運動」の目標 500 日を令和 7 年 2 月 7 日に達成したことから、新たな目標を 1,000 日と定め、また、「町民による交通死亡事故ゼロ日運動」の目標 1,000 日を令和 7 年 1 月 5 日に達成したことから、新たな目標を 1,500 日と定め、目標達成に向け関係機関はもとより、

町民の皆様とともに運動を展開し、悲惨な交通事故のない明るいまちづくりに向けて決意を新たにしたところであります。

次に、**春の町内一斉清掃**についてであります。4月20日に「市街地区・春の道路一斉清掃」を実施いたしました。市街地自治会の皆様のご協力により、冬期間の車等のスリップ防止に使用したびり砂利を大型トラック2台分、約10立方メートルとその他道路に捨てられていたごみ約160キログラムを収集・処分いたしました。

また、5月30日の「ごみゼロ運動の日」に先駆け、5月10日に「道路クリーン作戦」を実施いたしました。35名の町民の皆様に参加いただき、中央公民館から活汲方面の町道3号線に捨てられたごみの回収を行ったところです。

市街地以外の自治会と各種団体の皆様におかれましても独自の清掃活動を実施いただいておりますことに感謝を申し上げますとともに、今後とも町内美化活動を継続して参ります。

次に、**町有林J-クレジット創出事業**についてであります。5月13日、津別町町有林J-クレジット認証・販売業務に係る公募型プロポーザルによる選定方式で提案会を実施いたしました。3社から事業目的に沿った提案を受け、当事業プロポーザル委員会で審査した結果、優先交渉権者となる事業者を東京都の株式会社ステラグ

リーンに決定し、6月下旬の協定締結に向けて準備を進めることとしたところです。

なお、協定締結後に開始されますモニタリング調査を経て数量が確定し、その後、認証審査機関にてクレジット認証され、販売することになります。その収入を町の林業・林産業施策の推進に還元し、経済性と公益性に配慮した持続可能な社会の実現を図って参ります。

次に、高齢者に対するお祝いについてありますが、5月16日、
つちやさちこ 土屋幸子様、すがわら や え の 菅原八重野様が100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところです。

次に、ふるさと応援H（英知）プログラムによる寄附についてありますが、5月16日、札幌市中央区のエア・ウォーターの森において寄附授与式があり、出席いたしました。

このプログラムは、道内市町村の環境保全等の取組に対し、エア・ウォーター北海道株式会社が主催する財団より寄附されるもので、本町の木質バイオマスの取組が評価され、寄附額の上限額であります1,000万円のご寄附をいただいたところです。

寄附金につきましては、現在計画しています木質バイオマスエネルギーセンターの建設等、達美地区における福祉施設への熱供給に

向けた取組に活用して参ります。

次に、**町民植樹祭**についてであります。5月18日、網走南部森林管理署との共催により開催いたしました。

当日は関係者を含め62名が参加し、オホーツク総合振興局東部森林室職員による植樹指導のもと、カラマツの苗木400本を恩根町有林内に植栽いたしました。

また、本年も植樹祭に対しまして、社会福祉法人恵和福祉会様から苗木と実施看板を提供していただき、あらためましてお礼を申し上げる次第であります。

今後とも愛林のまちとして豊かな森林環境の造成に努めて参ります。

なお、今議会におきまして、人事案件、条例制定等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。